

第76回 四国高等学校卓球選手権大会



期日 令和5年6月16日（金）～18日（日）

会場 高知県民体育館

文責 高知県高等学校体育連盟卓球専門部

高知県私立土佐女子高等学校 濱田 裕和

令和5年度第76回四国高等学校卓球選手権大会は、上記の日程・場所で四国4県の代表選手が参加し、コロナ感染症が落ち着いてきた状況下ではありましたが、基本的な感染症対策を講じて無事に開催されました。主管県の高知県高体連卓球専門部の運営委員の先生方大変お疲れ様でございました。

さて、男子学校対抗決勝では、昨年度まで19連覇中の明德義塾に、3年生主体の勢いある四学香川西が挑みました。四学香川西のエースダブルス坂東・西村組が3番ダブルスで藤元・加藤組に勝つ検討を見せましたが、結果は3-1で明德義塾が勝利し、20連覇を達成するとともに、今年もその強さを見せつけました。また、尽誠学園、城南もチーム力が高く、予選リーグを勝ち上がり決勝トーナメントに進出しました。

女子学校対抗決勝では、12連覇中の明德義塾と土佐女子の高知県勢対決となりました。結果は、3-2で明德義塾が勝利し13連覇を達成しました。決勝はラストまでもつれる接戦となりましたが、総合力で上回った明德義塾に軍配が上がりました。土佐女子も1年生エース石川実選手を軸に食い下がり内容の濃い試合を見せてくれました。また、尽誠学園、済美の2チームも予選リーグを勝ち上がり決勝トーナメントに進出しました。

男子ダブルスは、ベスト4を明德義塾の4組が独占しました。決勝は、藤元・藤崎組が都築・瀬川組を3-2のフルセットで下し勝利しました。

女子ダブルスは、ベスト4に明德義塾から上田・水野組、中本・瀬島組、渡邊・竹本組の3組、土佐女子から石川実・西岡組が進出しました。決勝は、石川実・西岡組が3対1で渡邊・竹本組を破り優勝を果たしました。四人とも1年生での決勝進出ということで、今後の大会での活躍が期待されます。

男子シングルスは、ベスト8に明德義塾7名、高知小津1名の高知県勢が独占し、高知県の選手層の厚さが浮き彫りになりました。決勝は藤元選手（明德義塾）が加藤選手（明德義塾）を3対0のストレートで破り、見事と三冠を達成しました。昨年よりさらに心技体の成長が見られ、安定感がとてもありました。インターハイでの活躍を期待したいです。

女子シングルスは、ベスト8に明德義塾4名、土佐女子3名、四学香川西1名が入り、決勝は上田選手（明德義塾）が3対1で石川実選手（土佐女子）を破り、高校3年生の意地を見せて見事優勝を成し遂げました。インターハイでの活躍を願っております。

大会全体を振り返ってみると、男女すべての種目において明德義塾の強さが際立つ大会となりました。また、各県1年生の活躍もありましたので、3年生が抜ける秋以降の大会においても白熱した試合展開を各県で期待したいです。

最後に、大会運営にご尽力してくださった高知県卓球協会をはじめ高知県高体連卓球専門部の皆様、審判員や高校生ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

男子学校対抗予選リーグ

(1～4コート)

Aグループ	1 明徳義塾	2 徳島商業	3 高松商業	4 新居浜西	勝-敗	得点	順位
1 明徳義塾		3-0	3-0	3-0	3-0	6	1
2 徳島商業	0-3		3-2	3-0	2-1	5	2
3 高松商業	0-3	2-3		2-3	0-3	3	4
4 新居浜西	0-3	0-3	3-2		1-2	4	3

(5～8コート)

Bグループ	1 松山商業	2 尽誠学園	3 阿南高専	4 高知	勝-敗	得点	順位
1 松山商業		1-3	3-0	3-0	2-1	5	2
2 尽誠学園	3-1		3-0	3-0	3-0	6	1
3 阿南高専	0-3	0-3		3-1	1-2	4	3
4 高知	0-3	0-3	1-3		0-3	3	4

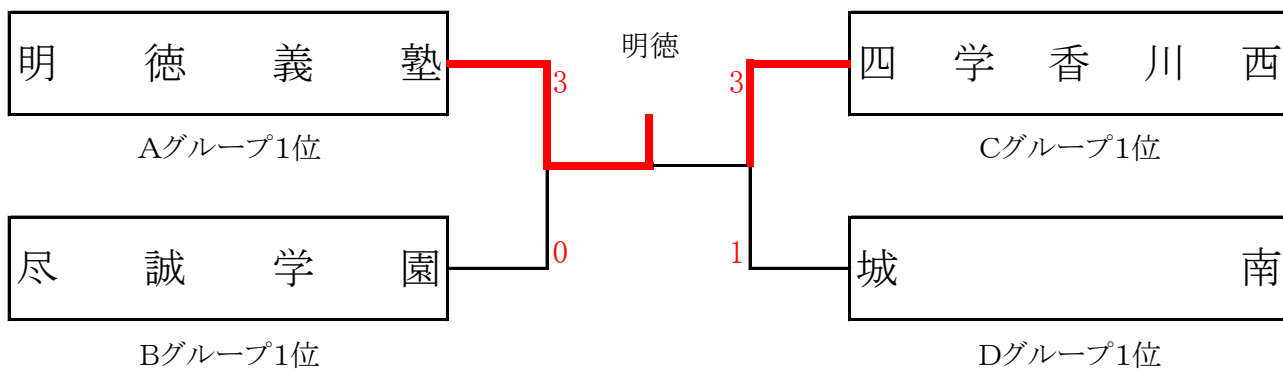
(9～12コート)

Cグループ	1 四学香川西	2 高知小津	3 松山北	4 つるぎ	勝-敗	得点	順位
1 四学香川西		3-1	3-0	3-0	3-0	6	1
2 高知小津	1-3		3-0	3-0	2-1	5	2
3 松山北	0-3	0-3		3-0	1-2	4	3
4 つるぎ	0-3	0-3	0-3		0-3	3	4

(サブ25～28コート)

Dグループ	1 城南	2 松山聖陵	3 宿毛工業	4 高松中央	勝-敗	得点	順位
1 城南		3-0	3-0	3-0	3-0	6	1
2 松山聖陵	0-3		3-0	0-3	1-2	4	3
3 宿毛工業	0-3	0-3		1-3	0-3	3	4
4 高松中央	0-3	3-0	3-1		2-1	5	2

男子学校対抗決勝トーナメント



決勝戦記録

学校名		得点			学校名	
明德義塾		3	—	1	四学香川西	
1	藤元駿	3	11 — 7 11 — 8 11 — 5	0	樋口快威	1
2	齋藤俊太郎	3	11 — 4 9 — 11 13 — 11 12 — 10	1	坂東泰和	2
D	藤元駿	0	5 — 11 12 — 14	3	坂東泰和	D
	加藤公輝		6 — 11		西村歩	
4	加藤公輝	3	11 — 7 11 — 8 11 — 9	0	西村歩	4
5	横部叶愛		— — — —		秋月凰輝	5



男子学校対抗優勝 明德義塾

(20連覇)

藤元・横部・加藤・坂本・花見・長谷川・齋藤

女子学校対抗予選リーグ

(13～16コート)

Aグループ	1 明徳義塾	2 松山北	3 高松中央	4 海部	勝-敗	得点	順位
1 明徳義塾		3-0	3-0	3-0	3-0	6	1
2 松山北	0-3		3-2	3-1	2-1	5	2
3 高松中央	0-3	2-3		3-1	1-2	4	3
4 海部	0-3	1-3	1-3		0-3	3	4

(17～20コート)

Bグループ	1 徳島市立	2 尽誠学園	3 宇和島東	4 宿毛工業	勝-敗	得点	順位
1 徳島市立		1-3	1-3	3-0	1-2	4	3
2 尽誠学園	3-1		3-0	3-1	3-0	6	1
3 宇和島東	3-1	0-3		3-1	2-1	5	2
4 宿毛工業	0-3	1-3	1-3		0-3	3	4

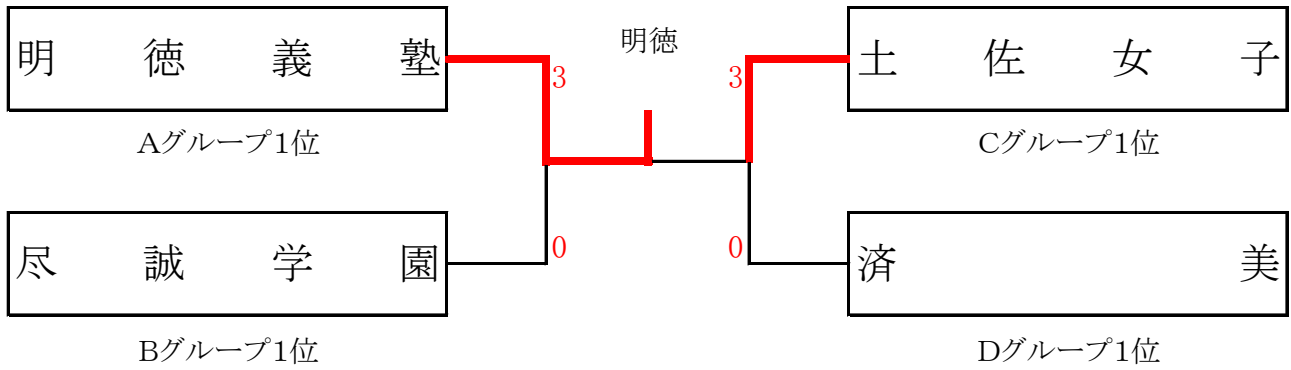
(サブ29～32コート)

Cグループ	1 四学香川西	2 土佐女子	3 徳島商業	4 松山商業	勝-敗	得点	順位
1 四学香川西		1-3	3-0	3-0	2-1	5	2
2 土佐女子	3-1		3-0	3-0	3-0	6	1
3 徳島商業	0-3	0-3		3-0	1-2	4	3
4 松山商業	0-3	0-3	0-3		0-3	3	4

(21～24コート)

Dグループ	1 済美	2 城南	3 土佐	4 高松商業	勝-敗	得点	順位
1 済美		3-1	3-0	3-0	3-0	6	1
2 城南	1-3		3-0	3-0	2-1	5	2
3 土佐	0-3	0-3		0-3	0-3	3	4
4 高松商業	0-3	0-3	3-0		1-2	4	3

女子学校対抗決勝トーナメント



決勝戦記録

学校名		得点			学校名	
明德義塾		3	—	2	土佐女子	
1	上田紫乃	3	11 — 5 3 — 11 11 — 4 8 — 11 11 — 9	2	藤本望水	1
2	渡邊心葉	2	5 — 11 10 — 12 12 — 10 11 — 6 11 — 13	3	石川実鈴	2
D	上田紫乃	1	11 — 13 11 — 6	3	藤本望水	D
	水野瑞希		4 — 11 —		石川知佳	
4	水野瑞希	3	6 — 11 11 — 6 11 — 8 11 — 3 —	1	西岡緩夏	4
5	竹本薫乃	3	12 — 10 10 — 12 11 — 6 11 — 5 —	1	石川知佳	5

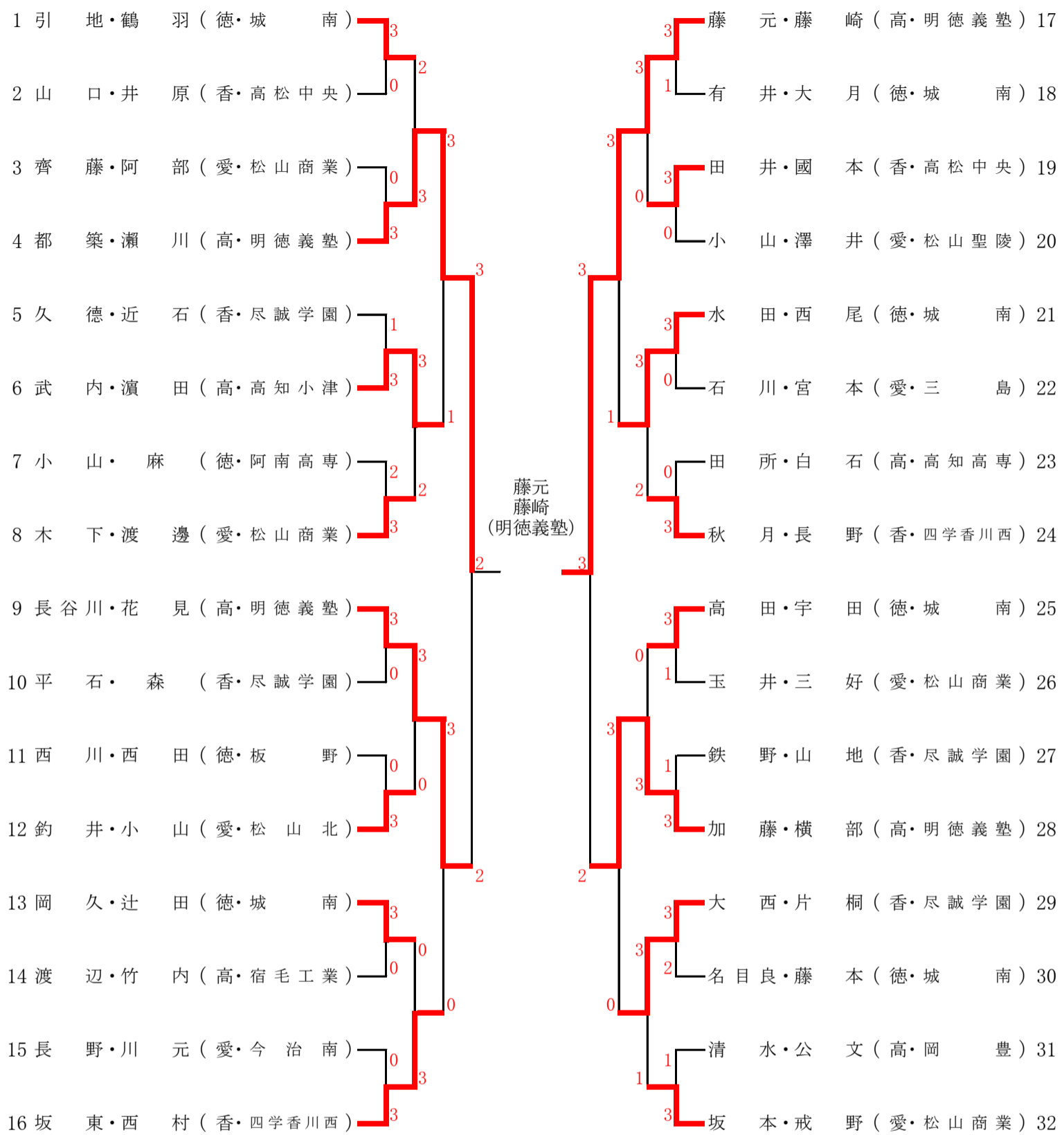


女子学校対抗優勝 明德義塾

(13連覇)

中本・上田・瀬島・水野・近藤・渡邊・竹本

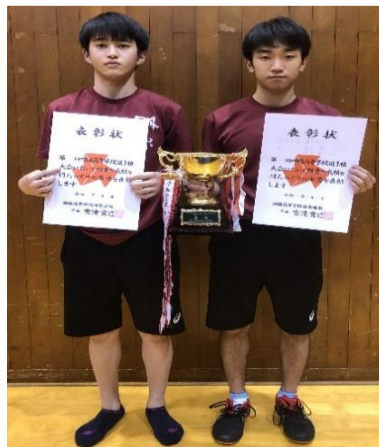
男子ダブルス



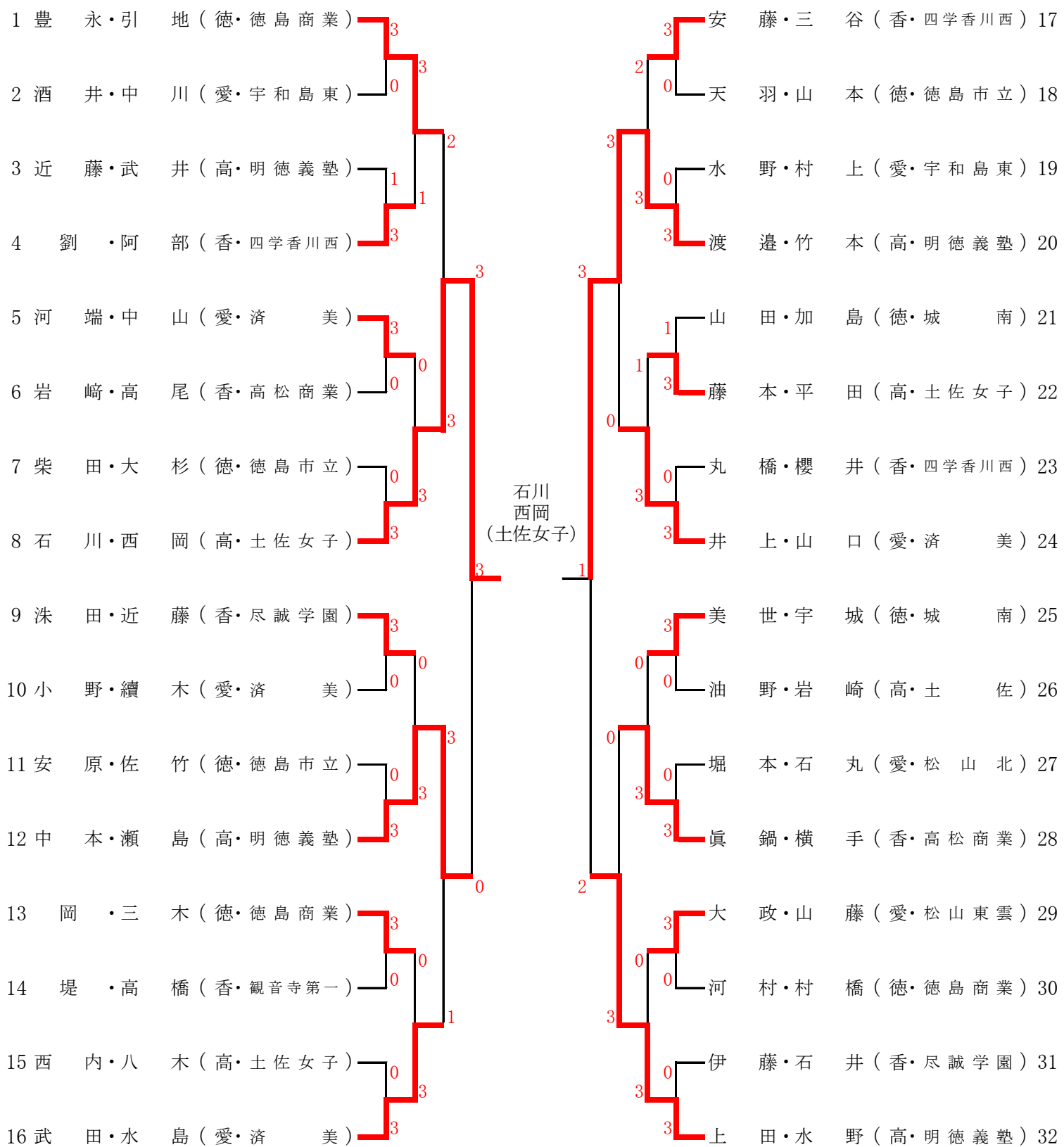
決勝戦記録

都築和仁	2	7	—	11	3	藤元駿
瀬川迅風		14	—	12		藤崎樹
(高知・明德義塾)		11	—	7		(高知・明德義塾)
		4	—	11		
		6	—	11		

男子ダブルス
優勝
藤元駿・藤崎樹 組



女子ダブルス



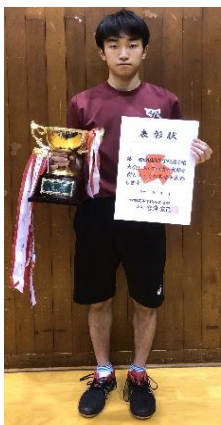
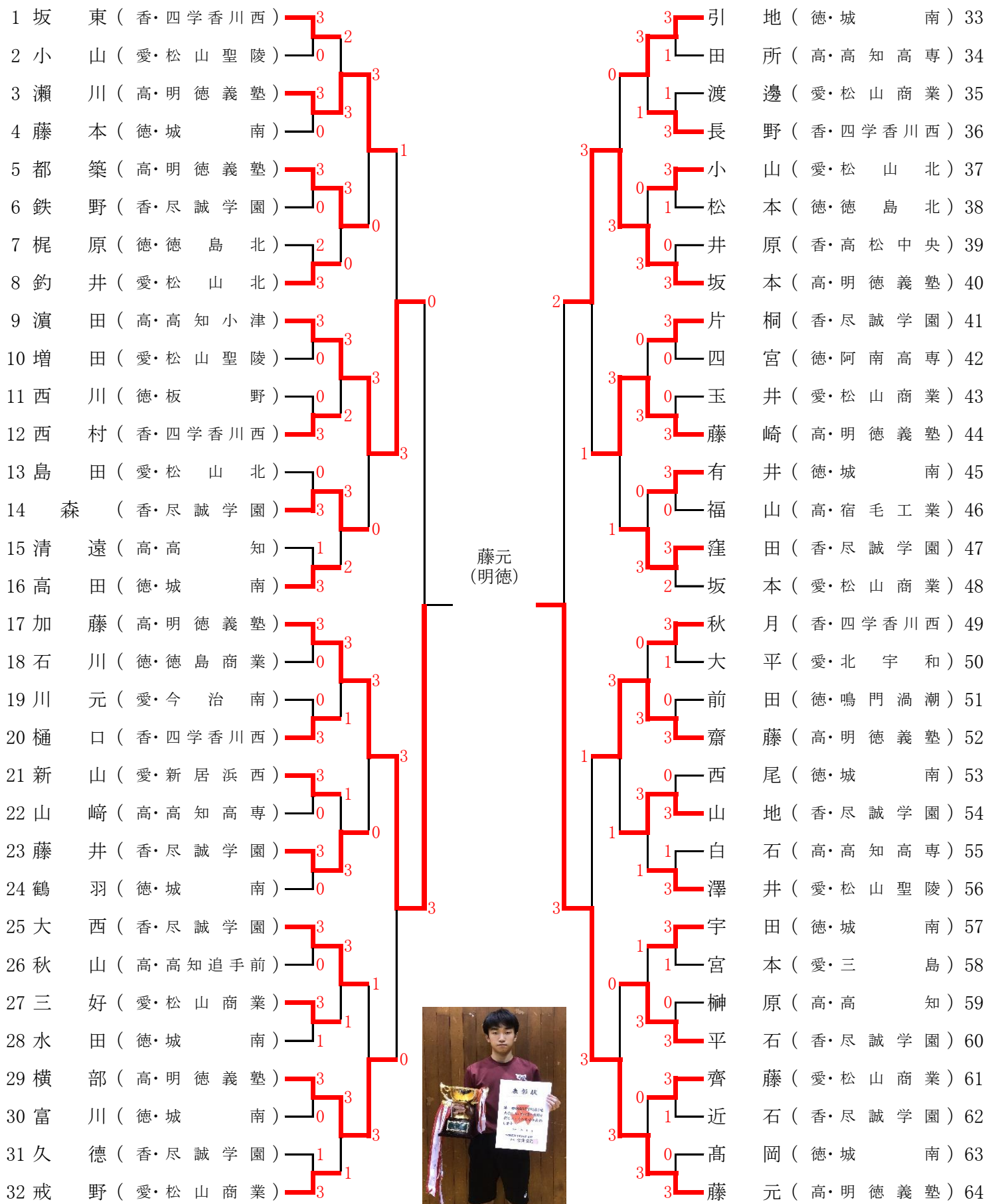
決勝戦記録

石川実鈴		11	—	8		渡邊心葉
西岡緩夏	3	8	—	11	1	竹本薫乃
(高知・土佐女子)		11	—	7		(高知・明德義塾)
		11	—	9		
			—			

女子ダブルス
優勝
石川実鈴・西岡緩夏 組



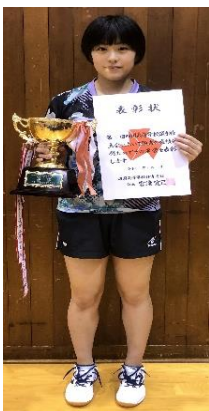
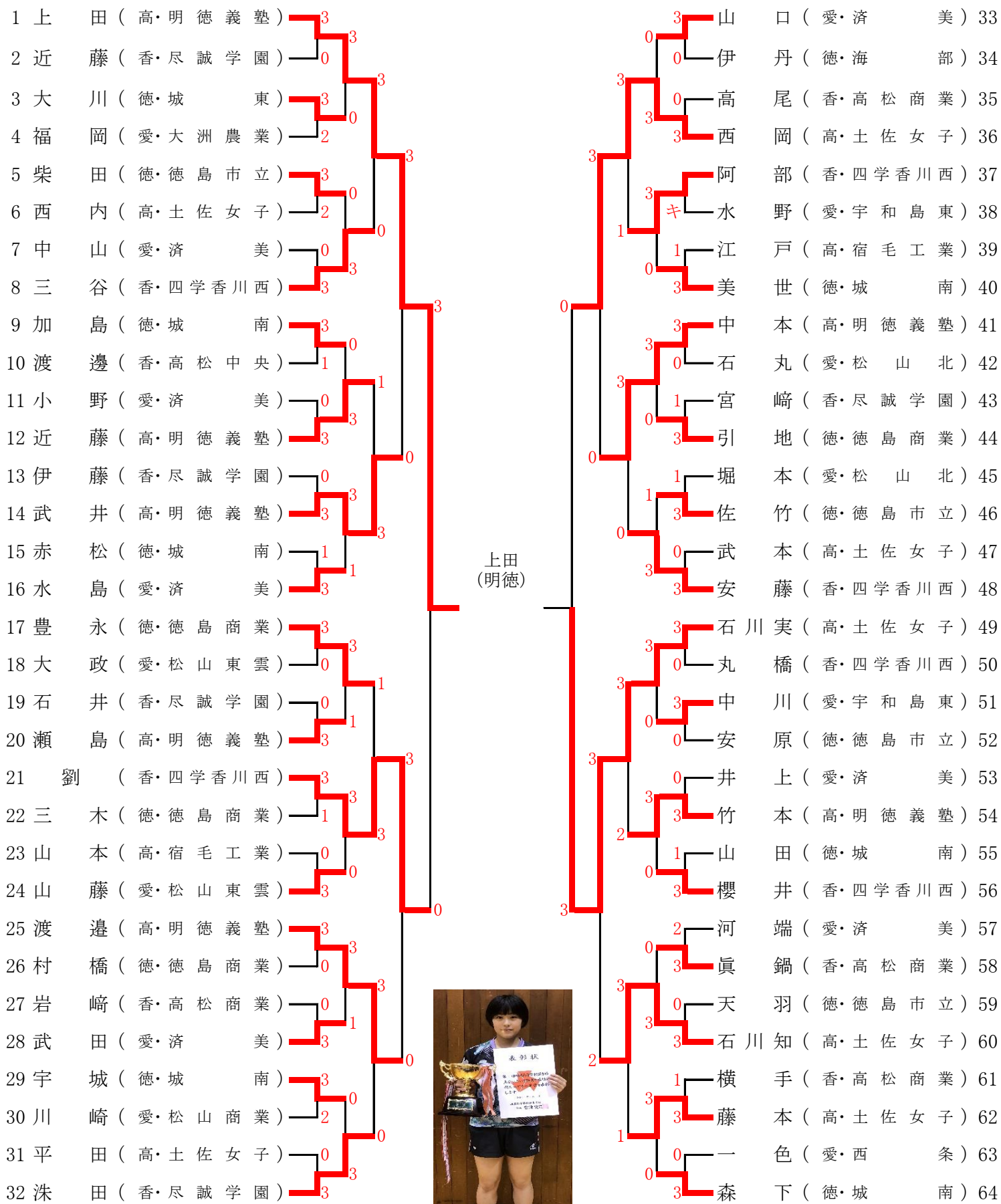
男子シングルス



決勝戦記録

加藤公輝 (高知・明徳義塾)	0	7 - 11 5 - 11 5 - 11 — —	3	藤元駿 (高知・明徳義塾)
-------------------	---	--------------------------------------	---	------------------

女子シングルス



決勝戦記録

上田紫乃 (高知・明德義塾)	3	11	—	3	1	石川実鈴 (高知・土佐女子)
		14	—	12		
		7	—	11		
		11	—	4		
		—	—	—		